

広報 京丹波 5

NO.127 2016.5.17 発行 TOWN KYOTAMBA



「はるいろさくらまつり」より

contents

- 02 特集|京丹波づくしの酒造りへの挑戦「丹」誕生
- 06 人と人 地域と世界をつなぐみんなの手
- 08 人の動き／熊本地震義援金受付のご案内
- 10 暮らしのガイド
- 12 いきいき健康術
- 13 KYOTAMBA まちの元気人
- 14 FLASH まちの話題
- 16 京丹波ふるさと料理レシピ 100歳おばあちゃんの手焼きおかき

地産地消の酒造り 背中を押した息子の言葉

寺井 京丹波産の酒米のみを使う酒造りへの思いはありましたが、踏み出せないでいました。というのも通常、酒米は酒造組合から仕入れます。酒米の産地を府県指定できませんが、地域指定まではできません。また、生産量すべてを買い取れるとは限らない状態で栽培契約するのはリスクが高いからです。三年前に井上裕紀さんと本庄消防団の集まりで知り合い、彼の実家が規模農家と聞いて、ぼくの思いを話したのが、益孝さんと出会うきっかけになりました。

井上 寺井さんの思い、地産地消という目標はものすごく共感できました。それに息子がね、「お父さんいっぺん挑戦してみいひんか」と言うてくれたんです。

寺井 酒造りは、米の豊作・不作が影響します。製造者の希望数量を安定供給でき、生産者に損がないよう酒造組合があります。

井上さんと直接、栽培契約をすると一〇〇畝地元産の米が入りま

すが、米不足や余剰などのリスクも生じますので、万一に備え、保険として酒造組合との取引も継続することにしました。

井上 自然相手なので何があるかわからない。その方が安心して栽培できます。私も余剰分は、J Aが買い取ってくれるよう交渉しました。何度も確認をとりましたよ。

二人 おかげでお互い安心してチャレンジできました。

えらいこつちや！町中のスズメが集合?!

井上 酒米作りは全く初めて。平成二十六年、試験的に酒米五百万畝を十ヶ作付けしましたが、お恥ずかしい話、五百万石は穂が出るのが早いとは知らなかった。コシヒカリに比べて約三週間も早く七月上旬に穂が生まれて、あわてて農協に電話して、「穂が出てしまった！えらいこつちや！」言うたら、「そういう品種です。それで当たり前ですわ」と言われてひと安心。で、これやったらものすごい楽やと。五百万石を八月下旬に収穫して、九月前半にコシヒカリ(うるち米)収穫、九月中旬に京のががやき(かけ米)を収穫するので作業効率が良かったんです。しかし、出穂が早いということは、スズメが一斉に寄ってくるということ。町中のスズメが来たのかと思つたくらい。気づいてすぐに追い払いましたが一瞬で青穂の田が真っ白に。すぐにスズメよけの網を張りましたが目標収量一五袋四五〇袋のところ、三二〇袋程度でした。収量を確保するのが難しいことが分かりました。この経験を元に翌二十七年は、希望数量を確実に

に収穫できるよう作付面積を七〇畝にしたところ、読みが当たって希望数量きちつと取れました。

寺井 酒造りの方は、まだまだ改良の余地があります。正直、初めての米で先が読めず思うような発酵ができませんでした。今後二〜三年は勉強です。軌道に乗れば、もっと生産していただけると思います。

京丹波づくしの 酒造りへの挑戦

丹 誕生

京丹波町の杜氏が
京丹波町の酒米と水で育てた純米吟醸酒「丹」
米と酒の作り手が地産地消に挑戦した
珠玉の一滴がこの春ついに誕生しました

私、お酒弱いけどね…
おいしいですわ。

農業の道をまい進

井上 益孝さん(富田・66歳)

米3ha、黒大豆1ha、その他野菜40aなど計4.5haの農地を経営する。退職を機に就農し現在7年目。農家に生まれ会社勤めの傍ら父親を手伝っていたので作業のしんどさには慣れていた。繁忙期に手伝いを頼むこともあるが、「自分の力でできないことはしない」をモットーに農業機械を活用して経営にいそしんでいる。

酒造りの道一筋

寺井 渉さん(本庄・46歳)

明治36年創業の老舗、長老酒造の杜氏となって10年。工程を省かず創業以来の製法を守り続ける。職人仕事は体で覚えるため前杜氏から具体的な技術指導はなく、当初2年は眠るゆとりもなく点滴を受けながら仕込みに打ち込んだ。現在ではもろみの発酵を見て、“酒の性格”が見える。

寺井 「丹」の味はだんだん変わります。今は若々しくはつらつとしたやんちゃなお酒ですが、一年後には丸く優しい感じになっているでしょう。絞られたては別として、製造後間もない商品は風味が安定してから出荷するのですが、私はやんちゃが柔らかくなつていく様を楽しんでいただきたいと思います。

井上 スズメ被害を最小限に抑えるため七〇坪全面に網を張りました。作業に三日間、資材費は十万円を超えましたが金額ではありません。最終的に目標を達成したという達成感がものすごく良かった。

寺井 分かります(笑)

京丹波の酒米 やがては既存商品にも

井上 読みがピシッと当たり、最高に気持ち良かった。何事も手をかけるほど良いものができます。その喜びです。昨年の経験が自信になりました。平成二十八年は作付けを倍に増やし、スズメ被害はおどしと網のダブルで抑えたいです。網をかけやすいようほ場をかためてね。目標収量は四五〇〇キです。しかし、農業は毎年、新一年生です。

寺井 酒作りも毎年一年生ですよ。おやつさん(前杜氏)もそう言っていました。経験があっても同じようにはできません。

井上 一緒です。私、黒大豆栽培は六年になりますが、二十年作っている人から相談されることもあります。というところは、二十年作っている人も一年生。毎年、気象条件が違いますから、同じようにはできません。

寺井 業種によらず職人は皆、同じですね。

井上 ほんで面白い(笑)途中はしんどいやけどね、できたとき、「はあくできたあ」という達成感。それが楽しい!

寺井 良い米がないと良い酒はできません。

井上 自然相手なのでどんな年もあると思いますが、できるだけ寺井さんの希望数量を安定生産できるようにしたいです。

寺井 ゆくゆくは、既存商品にも京丹波産の酒米を使いたいです。まずは地元で愛されるお酒になることが一番大事と思っていますので、コツコツ続けていきたいです。

二人 よろしくお願ひします。

こだわりの酒で コーディネートの広がり期待

京都府総務部自治振興課参事
まちの
仕事人
いしかわ さいき
石川 栄基氏

甘すぎず落ち着いた味わいで、スッキリとした飲み心地です。ぜひ、京丹波ならではのお料理と一緒に、京丹波で作られた酒器でいただきたいと思います。京丹波には、おいしい食材がたくさんあります。先の「はるいろさくらまつり」では地元作家の器も展示されていました。せっかく京丹波の米と水にこだわったお酒ができたので、地元ならではのお料理やしつらえと共に楽しめるこだわりの空間ができれば素晴らしいですね。



町内4箇所の道の駅で購入できる。720ml(4合)、1.8l(1升)。



米作りから酒造りへバトンタッチ。今後の工程などを話合った。



待望の刈り入れは田が乾くのを待って午後に行われた。



田一面にスズメよけの網を張り巡らせて収量を確保。



ひと粒、ひと粒が試行錯誤を重ねた、汗の結晶。



交付金事業を活用 今後の事業効果を検証

和食がユネスコ無形文化遺産に登録され、酒米や米粉用米など加工用の米需要が高まりを見せる中、京丹波の米と水で造った酒を京丹波で消費することを目標にした新商品の開発事業は、地域住民

生活等緊急支援のための交付金(バイオテクノロジーを活用した地域産業活性化事業)を受けて実施。長老酒造、酒米生産者、京都農業協同組合丹波支店の協力により、平成二十七年二月に事業着手しました。

事の発端は平成二十五年、杜氏・寺井渉氏(本庄)と生産

者・井上益孝氏(富田)が、地産地消の酒造りを目指して意気投合し、翌二十六年に試験栽培を行ったことから。十七年度には町農林振興課のアドバイスを受けて事業実施に至りました。今後二十九年度までの三年間、事業効果などを検証することになります。



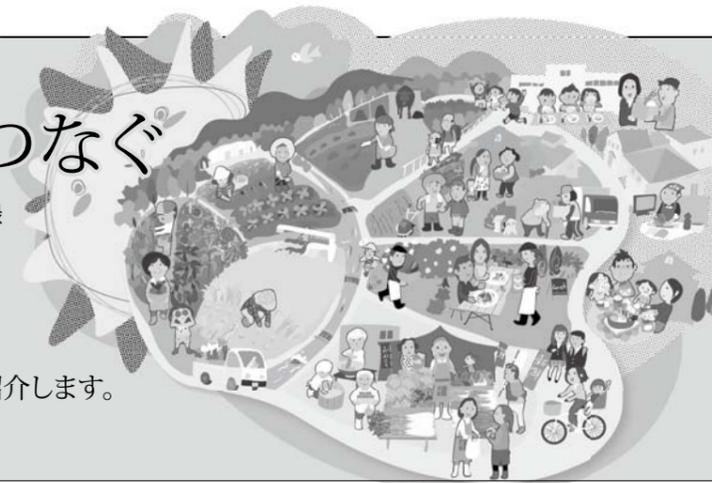
懐かしさが残る造りを生かしてリフォームされた室内。

田舎暮らしお試しあれ
質美振興会おためしハウス
 田舎暮らしを一定期間体験できる「おためしハウス」が三月に完成し、入居者募集に向けてルール作りなどが進んでいます。
 質美地域振興会が増えつつある空き家の有効活用の一つとして、田舎暮らしを希望する都市住民向けに民家を改装して設置しました。振興会役員の大西好美さんは、「地域独特の風習や村役があるので、おためしハウスで生活しながら少しずつ経験し、地域の魅力を感じてもらえたら」と期待。入居者がいない間は、地域住民の集いに利用されます。

人と人 地域と世界をつなぐ みんなの手

住民自治組織の活動記録
ふるさとDIARY

地域の課題解決、暮らしを楽しく、さまざまな目的で地域運営や活性化に取り組まれている皆さんの活動を紹介します。



アセビに続いて、タムシバ、しだれ桜、山桜と5月上旬まで花盛り。深緑もお勧め。

和知西部の里山を眺望
ひろの展望台に植樹
 由良川下流域の里山風景が一望できる「ひろの展望台」（広野地内京都縦貫自動車道沿い）が完成し、地域住民が伸びやかな風景を一目見ようと訪れています。
 展望台広場は、京都縦貫自動車道工事完了後に道路付近に残る空き地を活用し、広野大簾活性化委員会が三月二十六日に植樹と案内板設置などを行いました。
 植樹には、地元住民や食の応援隊メンバー、林業大学の有志など三十六人が参加し、広場周囲にアセビ二百株を移植。作業後は晴れやかな景色を眺めながら委員会手作りのカレーに舌鼓を打ちました。



釜から食材まで、皆で作上げたふるさとの味。(写真提供:竹野活性化委員会)

心をつなぐ釜料理
竹野小学校パン釜火入れ式
 今春、竹野小学校児童らが、卒業記念に制作したパン釜の火入れ式が四月九日、同校で行われ、卒業生や地域住民、在校生など五十人が試食会を開きました。卒業生五人が順に火を入れ、まきを追加し、耐火レンガを積んで空気を調節。野菜や黒大豆を盛った具だくさんピザ、パン、ラザニア、煮豚などが次々に焼き上がると、子どもも大人も駆け寄り、我先にと取り分けました。熱々のパンは、「ふわふわ」「くるみの味が効いている」と好評。用意された手作りメニューはあつという間に完食されました。

地域おこし協力隊 新メンバーを紹介

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化などが著しい地方で地域協力活動を行い、都市住民のニーズにこたえながら地域力の維持・強化を図っていく制度。平成27年度に全国で2,625人が活躍しています。本町でも平成27年度に採用が始まり、本年度、新たに4人が加わりました。



かつた まさひろ
勝田 雅洋さん(瑞穂農業公社付)
 起業に向けてまずは現場を学ぶ。今回のチャレンジに備え神社4箇所を厄落とし。41歳。愛知県名古屋から

山村資源活用し 地域ビジネス目指したい

京丹波町には知名度を持つ食ブランドがあり、京阪神地域とのアクセスの容易さが他地域に比べて優位です。ITを活用し、農林業経営の効率化や若年層をターゲットにした地域ビジネス開始を目指します。

食の魅力を引き出し 商品開発

京丹波町といえば、丹波栗、丹波大納言などが有名です。旅行が趣味で各地を食べ歩いた経験を生かし、食の魅力を発信できる世代ニーズをとらえた商品開発に取り組みます。



ささお 智絵さん(商工観光課付)
笹尾 智絵さん(商工観光課付)
 自然に囲まれ心豊かに持続可能な生活をしたい。スキーで滑走する爽快感が好き。38歳。京都市城陽市から



わたなべ しんぺい
渡辺 晋平さん(農林振興課付)
 ブラジリアン柔術で蓄えた体力には自信あり。37歳。神奈川県川崎市から

地域の一員として 活動したい

担い手減少によって農村文化が衰退し、森林バランスが崩れている現状を知り、自分自身が地域の一員として農林業を担いたいと思い移住しました。将来は田舎暮らしを望む人と本町の架け橋になりたい。

共に汗流し 共感の輪広げたい

地域貢献がしたくて京都府のおいしい食の応援隊に参加していました。前職での問題解決の経験をフル活用し、人と人との「共感」を軸にした地域活性化に貢献したい。



さとう げんき
佐藤 元基さん(商工観光課付)
 地域住民が丸となる行事が好き。28歳。京都府亀岡市から

本年4月から町内の役員、委員が変更され、新たな体制で活動しています。

区長(任期一年)

【丹波地区】

- (菅尾)一谷 徹
(中畑)谷垣義一
(辻村)山鳥秀夫
(中村)岩田至巨
(下村)山田明義
(鎌倉)水谷保雄
(西階)船越正明
(水戸)大崎克巳
(新水戸)山本 透
(須知)湊 嘉秀
(市森)杉本 貢
(上野)山崎 正
(蒲生)山崎俊雄
(蒲生野)今出勇市
(曾根)岩崎雅人
(院内)生田 均
(幸野)南 剛
(森)與戸不二夫
(塩田谷)谷口公一
(安井)村山滋郎
(富田)坂井清一
(豊田)北村優幸
(上豊田)竹口忠義
(実勢)小森清司

- (下山)稲葉文男
(グリーンハイツ)
赤崎壽博

【瑞穂地区】

- (中台)谷山恒司
(橋爪)八木光悦
(和田)井上正幸
(井脇)上西利秋
(大朴)松村道夫
(井尻)田口 治
(八田)西下 保
(小野)谷内誠樹
(長谷)音在玄子
(坂井)上田隆男
(水原)軽野文明
(上大久保)伴田邦雄
(下大久保)畠中源一
(鎌谷下)村上和輝
(鎌谷中)山田俊隆
(鎌谷奥)中南久雄
(東又)太野義昭
(保井谷)野村雅浩
(粟野)畑中裕輝
(妙楽寺)城崎正継
(水呑)津田康裕
(三ノ宮)西山美之

- (質志)岡花芳樹
(戸津川)後藤哲雄
(猪鼻)樋口敏秀
(行佛)田畑孝夫
(中村)谷 正流
(庄ノ路)林 幸男
(和田)上林太志
(上野)竹野和宣
(下村)大西弘二
(北久保)山根一明

【和知地区】

- (中山)松下 昇
(升谷)山内徳幸
(市場)山口孝和
(大倉)堀 安子
(篠原)山本英夫
(大迫)堀 和宏
(長瀬)竹内俊行
(塩谷)堀 智行
(上乙見)榎川寿博
(下乙見)白樫 貢
(西河内)今海博文
(下粟野)江本勝行
(細谷)石田克己
(上粟野)三嶋郁夫
(仏主)藤田 勉

京丹波町消防団

新入団員

- 【丹波支団】
西原悠紀、中村 拳、
松山義明、塩田哲也、
山本正史、太田達士、
林 和貴、市嶋大祐、
四角隆則、木上祐輔、
大澤竜貴
【瑞穂支団】
山田幸裕、上西宏幸、
松村祥平、杉山 準、
桑山直希、西野将基、

- (本庄)隅山卓夫
(坂原)野間智樹
(中)野間幸則
(角)広瀬正明
(広瀬)石原哲夫
(才原)原田利郎
(大簾)才村康則
(広野)西村元邦
(出野)山森 博
(稲次)岸本 均
(安栖里)森 久恒
(小畑)築山忠則

退団者

- 垣内健太、上林広大
【和知支団】
山田龍太郎、
絹川勝斗、石原和剛、
下村直也

【丹波支団】

- 団長 梅原好範
(分団長)谷垣哲也、
小山 潤
(団員)東 典明、
中村久己、高谷 潔、
村山一紀、湊 浩義、
樹山純也、谷口文啓、
谷口忠久、永澤友嘉、
谷口清一

【瑞穂支団】

- (団員)渡辺剛志、
山藤 勲、石田裕明、
池田英治、荻野 智、
軽尾 豊、山内和浩、
橋本秀樹、北村辰浩、
樋口敏秀、前田 稔、
細野知之、上林茂治
【和知支団】
(団員)山内良典、

日常生活での障害に関するさまざまなことについて、お気軽にご相談ください。

身体障害者相談員(任期二年)

- 【丹波地区】
坂本 博(さかもと ひろし)
電話 八二一〇二六
若松孝子(わかまつ たかこ)
電話 八二二二〇六
【瑞穂地区】
三好重則(みよし しげのり)
電話 八六〇七〇七

山下立男(やました たてお)

- 電話 八六一〇一八
【和知地区】
谷口智美(たにぐち さとみ)
電話 八四〇八五五
片山俊明(かたやま としあき)
電話 八四〇八五二

知的障害者相談員(任期二年)

- 【丹波地区】
小松静子(こまつ しずこ)
電話 八二二二二二
【瑞穂地区】
山内みや子(やまうち みやこ)
電話 八六〇二八九
【和知地区】
鎌部京子(かまべ きょうこ)
電話 八四一三九〇



熊本地震義援金 受付のご案内

京丹波町では、4月18日午前8時に「平成28年熊本地震に対する京丹波町災害支援対策本部」を設置し、被災された方々を支援するため義援金を受け付けています。



「義援金箱」設置場所

- 京丹波町役場、瑞穂支所、和知支所
○京丹波町病院
○京丹波町病院和知診療所
○京丹波町健康管理センター
○京丹波町瑞穂保健福祉センター
○京丹波町社会福祉協議会和知支所

受付時間

- 各施設の業務時間
※土曜・日曜・祝日は京丹波町役場本庁と各支所で受け付けています。

お問い合わせ先

京丹波町役場総務課 危機管理室
TEL.0771-82-3800(直通)

後期高齢者医療制度に関するお知らせ

平成28・29年度の保険料率が決まりました

5月は消費者月間です

後期高齢者医療の保険料率は、運営主体である後期高齢者医療広域連合が定めることになっており、2年ごとに見直しが行われます。このほど、平成28・29年度の保険料率が決まりました。

●保険料の決め方

(京都府における平成28・29年度の年間保険料)

保険料額は、均等割額と所得割額の合計額(「表1」参照)となり、京都府の保険料率は次のとおりです。なお、保険料は被保険者お一人おひとりに納めていただきます。

●保険料率： **均等割額 48,220円** / **所得割率 9.61%**

「表1」保険料額の算定式

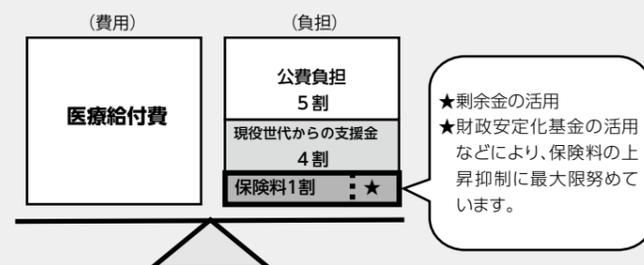
年間保険料 (限度額57万円)	=	均等割額 48,220円	+	所得割額 (総所得金額等－基礎控除額33万円)×所得割率9.61%
--------------------	---	-----------------	---	--------------------------------------

※「総所得金額等」は、収入額から控除額を差し引いた額です。(控除額とは、公的年金等控除額、給与所得控除額、必要経費のことであり、所得控除(社会保険料控除、扶養控除など)は含みません)

●保険料のしくみ

後期高齢者医療制度は、世代間で負担を分かち合い、支え合うしくみになっています。

医療給付にかかる費用の約5割は公費負担(※)、約4割は現役世代からの支援金で賄われ、残りの約1割が保険料となります。
(※国・府・市町村が負担します。)



●所得の低い方の軽減措置

所得の低い方は、世帯(被保険者全員と世帯主)の所得に応じて、保険料の均等割額が軽減されます(「表2」参照)。また、所得割額の算定において、総所得金額等から基礎控除額33万円を引いた額が58万円以下の方は、所得割額が5割軽減されます。

「表2」均等割額の軽減割合

総所得金額等(被保険者+世帯主)が下記の基準を超えない世帯	軽減割合
8.5割軽減の対象となる世帯のうち、被保険者全員が年金収入80万円以下(その他の各種所得がない)の世帯の方	9割
基礎控除額(33万円)	8.5割
基礎控除額(33万円)+26.5万円×被保険者の数	5割
基礎控除額(33万円)+48万円×被保険者の数	2割

※制度加入の前日まで会社の健康保険の被扶養者であった方は、当分の間、所得割額はかからず、均等割額が9割軽減されます。(国民健康保険や国保組合の加入者は該当しません。)

※税法上の申告内容に基づき所得確認をします。保険料の軽減を受けるには、申告義務が無い方(障害・遺族年金などの受給者、被扶養者、所得のない方)であっても、必ず所得の申告をしていただく必要があります。

消費者庁では、毎年5月を消費者月間と位置づけ、さまざまな取組を行っています。この機会に、身近な消費問題について考えてみませんか。

〔 悪質な訪問販売 電話勧誘など 〕

- * 電力小売全面自由化やマイナンバー制度に便乗して、個人情報を集めたり、他の商品売りつけたりする。
- * 「カニ」や「健康食品」などを強引に買わせようとしたり、注文していないのに送りつけてくる。

◆4月に起こった熊本の地震など、大規模な災害に便乗して、「災害支援」や「義援金」を持ちかけてくる悪質商法にはご注意ください。

〔 架空請求など 〕

- * 身に覚えのない請求書やメールが届いた。
- * アダルトサイトなどで、画面が消えなくなり、連絡をさせる。

◆覚えがないからと連絡をすると、高額請求されることがあります。また、電話をしたことで自分の情報を相手に与えることにもなります。

◆「無料解決」と悪質な探偵業者が違法行為を行い、高額請求をするケースもあります。

事故・危険情報

- * 子どもや高齢者の生活の中で危険だったことなど。
- * 身近な製品の事故・・・長期間使用している家電製品の発煙・発火など。

他にも『振り込め詐欺』など、全国的に被害の相談が多く寄せられています。さまざまな手口が報告されていますので、不審な電話などにはすぐ返事をせず、信頼できる人に相談するなどの対策をしてください。

京丹波町では、毎週水曜日と木曜日、専門の消費生活相談員が相談を受けています。また、製品事故などの情報提供も受けています。

美女山を守る活動、山歩き、ゴルフ、新聞投稿、NHK京都放送局への写真投稿などで知る人ぞ知る名前かもしれない。

平成十七年に七十歳で退職、趣味の山歩きとカメラを再開した。主に秋の南アルプスや高原に足を運び、紅葉の撮影や苦勞して登った者にしか味わえない頂上での達成感を満喫していた。

八十歳を前にふるさと京丹波にも立派な山があることに気づき、久しぶりに美女山に登った。マツタケ狩りや新作りに登った道は荒れていた。「須知小学校歌にも歌われ、児童をはじめ多くの人が登っていたこの美女山をもう一度皆が登れるようにしたい」との思いに駆られた。

麓の四集落に声をかけ、有志四人が発起人となって平成二十五年七月、『美女山を守る会』を設立。以来、登山道や遊歩道などを整備し、今年四月に麓に案内板を設置した。一通りの整備を完了し、「なかでも四集落の人々が四ルートから頂上を目指した一斉登山には八十人を超す参加者



ハヤシミノルの担当業務

林 稔さん(蒲生・81歳)

があり、多くの人が山に関心を持っておられるのに感激しました」と振り返る。

美女山は、秋から春にかけて町外からの登山者が多く、ホームページに寄せられる登山者の感想をチェックしながら整備を進めてきた。この活動が縁となり、須知小同級生十人で『山歩き』の会』を結成。八十歳が十人で別名『八百歳の山旅』と称し、「山を歩けば若返る」を合言葉に美女山をはじめ、安井の櫃ヶ嶽、仏主の長老ヶ岳、市森の須知城跡登山に挑戦してきた。「メンバーからは年々足が衰えるので早く次の計画をと急がされています」と好評。今年には国民の祝日として山の日がスタートする。「体力の続く限り、四季の自然を楽しみ、健康のための山歩きに挑戦したい」と意欲を見せる。

また、健康維持のために始めたゴルフの会『丹球の会』では毎月一回の活動を続け、今年四月に百四十回目となった。「二十人のメンバーが健康でがんばっています」と笑顔。

このほか、メンバーの異なるグルメの会、食事会などの幹事を受け持つ。「これらの企画・立案が健康を保ち、認知症を予防する秘訣かもしれません」

ボケ防止のためと始めた京都新聞「窓」欄への投稿、NHK京いちにち『お頼りコーナー』への写真投稿では、見知らぬ読者から「記事を読んで同感」「写真を楽しみにしている」などの声が寄せられる。「皆様の声を生きがいに感じて、投稿は私が生きている証拠と伝えています。京都新聞の投稿欄では町内の方のお名前をよく拝見しますので、一度、皆さんと懇談会が持たたいですね」趣味を通して仲間との絆を深め、新たな出会いをつないでいく。

「窓」欄の会「発足か。

いきいき健康術 第105回

町立病院・診療所の医師や専門職員が健康情報をお届けします。

『マダニ咬傷の予防』



前田 武昌 病院長(外科)

気候が良くなり、畑や田んぼでの作業や山菜採りに山歩きなど、アウトドア活動が増える季節になりましたね。そこで注意しなければならぬのが、野生生物による被害です。クモ、蜂、蛇、ムカデ、山ヒルなど種々ありますが、今回はマダニについてお話しします。

マダニは家ダニと違い、体長二〜三ミリと比較的大きく、肉眼でも確認できます。普段は葉っぱの裏側などにおいて、人や動物が通り葉に触れた時にくつきまします。その後、皮膚の柔らかい所を探して移動し、牙を皮膚に突き刺してゆっくりと吸血します。放っておくと一週間ほどかけて吸血し、七〜十ミリくらいにまで大きくなります。問題は、マダニがウイルスや細菌

菌の媒介をして特定の感染症の原因になることです。特に最近ではSFTSウイルスを媒介するところが分かり、大きく報道されました。他にも表の病気を媒介することが知られています。マダニを発見したら直ちに除去しましょう。

アルコール綿で除去

マダニが皮膚にかみついている間にダニの唾液がセメントの様に固まり、牙が抜けにくくなっていますので、乱暴に抜くと牙が皮膚に残り、皮膚科などで除去しなければなりません。アルコール綿(焼酎やウイスキーでも可)をしぼらぐ押しつけ、ピンセットですっと引き抜くと抜けやすくなります。

かまれないためには

マダニ咬傷の被害を予防するには、手足を露出させない、虫よけスプレーを使用する、木や草にむやみに接触しないなどの対策がお勧めです。また、野山で活動した後、原因不明の発熱や下痢、発疹が現れたら、感染症の可能性もありますので、内科や皮膚科を受診しましょう。



病院と診療所の看護師、コメディカルのユニフォームを10年ぶりに一新しました。

マダニが媒介する感染症

1 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	
原因	SFTSウイルスによる、マダニの保有率は5~15%
症状	嘔吐(おうと)・下痢・頭痛、最悪の場合は死に至る
2 ライム病	
原因	ネズミや鹿からマダニを介してボレリア(細菌の一種)が感染して起こる。2日以上かまれていると感染のリスクが上がる。
症状	倦怠・悪寒・嘔吐(おうと)・頭痛・関節痛 など
3 日本猩紅熱	
原因	リケッチアの感染による
症状	風疹に似た症状、発疹・発熱、まれに死亡

体制新たに任務遂行誓う

町消防団入退団・役員任命式

京丹波町消防団入退団及び役員任命式が四月一日、町立蒲生野中学校体育館で行われました。梅原好範団長が任期満了により退任し、新たに隅田光郎団長を任命しました。新入団員を代表し、木上祐輔さん(丹波支団)が「良心に従い忠実に消防義務を遂行します」と宣誓しました。退団者には辞令交付の後、寺尾町長が長年の功績に謝辞を述べました。



一丸となって災害に立ち向かう新たな仲間を期待。

であることを学ぶにつれ、引き締まった表情に。指導にあたった幹部は、「質問する団員もあり、やりがいのある訓練になった」と手ごたえを確かめました。

消防庁長官表彰

【永年勤続功労章】隅田光郎(副団長)
公益財団法人日本消防協会会長表彰

【精績章】竹内 健(分団長)

西村孝之(分団長)

堀 正樹(分団長)

藤本正幸(団員)

山口和之(団員)

野間猛司(団員)

野間 義(団員)

藤山英二(団員)

片山和次(団員)

※階級は表彰時点



技能を習得し、団員同士の信頼や団結心を養います。

JR和知駅前青空喫茶

京都大学生が企画・演出

わち山野草の森「はるいろさくらまつり」が開催された四月二日・三日、JR和知駅前広場で青空喫茶「わちカフェ」が開店し、電車で訪れたまつり客などにぎわいをもたらした。「わちカフェ」は京都大学大学院工学研究科の神吉教授研究室の学生八人による発案。神吉研究室は、京都府地域再生プロジェクトに企画し、山間部路線の改善策に取り組んでおり、平成二十七年七月から和知駅前活性化委員会と話し合いを重ね、駅改修プランの提案や駅利用に関するアンケートを行ってきました。この日は、駅前のにぎわいのひと時を生み出そうと学生が企画し、活性化委員会が手作り市を出店。休憩客は買い物や太鼓を楽しみました。



布が風をはらみ柔らかな光が注ぐあたたかな空間を演出。

子の誕生祝う気持ち

いつまでも

ふるさと人形展

約二千体の雛人形などが一般公開される「ふるさと人形展」が四月一日から五日間、みずほ人形の家みやびで開催され、町内外から延べ六百十二人が訪れました。人形は、京丹波町ふるさと体験資料館運営委員会が一般家庭から譲り受けた雛人形、五月人形、土人形などで、古くは約二百年前の古今雛も。各時代の慣習が人形につくり表れており、訪れた人は自らの子ども時代を振り返り、懐かしく愛でていました。



家族の思いを受けた人形たちを大切に。



たくさん遊んでいっぱい食べて大きくなあれ。

新生活賑やかにスタート

町立保育所など入所式

桜咲き誇った四月六日、町立保育所での入所式が行われ、六十七人が初の集団生活をスタートさせました。

わちエンジェルでは、東直美所長が保護者へ「職員一同、子どもたちの成長を願い、精一杯努力します」と式辞を述べ、五歳児が元気な歌声で歓迎しました。保護者会の片山副会長は、「人数が増えたクラスもあり、にぎやかになってうれし」と笑顔。須知幼稚園では四月十二日に入園式を行い、十七人が入園しました。



来賓の励ましに「はい」と声を揃えて応える児童。

校舎に活気よぶ新一年生

町立小学校の入学式

町立小学校の入学式は四月八日に行われ、百人が新一年生となりました。

町内で最小規模の竹野小学校では、新一年生六人が担任教諭から名前を呼ばれると、しっかりと返事をし、在校生から「困ったことがあればなんでも相談してね」と温かく迎えられました。式中は静かな雰囲気、遠慮気味の一年生でしたが、教室に戻るとさっそうと元気な声が廊下に響き渡りました。



入学生代表・西山瑠星くんが、「今の新鮮な気持ちを忘れず瑞穂中学校の生徒として誇りを持ち、力を合わせて精一杯がんばります」と宣誓。

一年一年を成長の節目に

町立中学校で入学式

花冷えとなった四月十一日、町立中学校で入学式が行われ、百九人が新たな門出を迎えました。

瑞穂中学校では、入学生二十一人が担任教諭に続いて入場。平田敬一校長が目指してほしい三つの目標として、「健康であること、人権を大切にして自主的に行動すること、明るく朗らかであること」と説き、生徒会長の安田太陽くんが「勉強や部活動で困難なときも耐えることで未来へつながる。僕たちが力になる」と歓迎しました。

わたしたちの町

人口	15,063(-16)
男	7,131(-5)
女	7,932(-11)
世帯数	6,383(+11)
5月1日現在 / ()は前月比	

義援金などの受付状況

東日本大震災および熊本地震の被災地支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額	
東日本大震災義援金	9,624,346円
熊本地震義援金	131,687円
復興支援募金	7,021,225円

*平成28年4月30日現在

ご寄付のお礼

ふるさと応援寄付金(ふるさと納税)をいただきました。ありがとうございました。

まきの もとひこ
牧野 元彦さん 1万円
(掲載内容は寄付者の申し出にもとづくもの)

訂正とお詫び

広報京丹波 4月号19ページにおいて、文化賞の輝き賞(個人)長谷川天星さんの所属中学校に誤りがありましたので訂正しお詫び申し上げます。

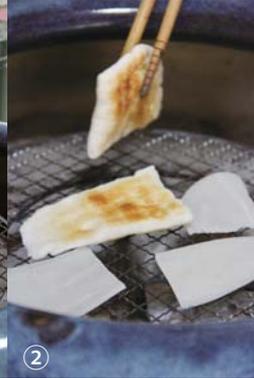
【正】(和知中) 【誤】(瑞穂中)

編集後記

4月から広報担当になりました。取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。これから、どうぞよろしくお願ひします。



← 陰干し後、米袋のような厚手の紙袋に入れてつるして保管すると2年間もちます。



京丹波
ふるさと
料理レシピ

100歳おばあちゃんの 手焼きおかき

作り方

【陰干し】

鏡餅が固くなる前に4分の1に切り、厚さ3ミリ程度の薄切りにする。(1月3日ごろ)
2月中旬まで陰干しする。

【焼き方】

- ①炭火でじっくり焼く。こまめにひっくり返す。
- ②焼き色がついたら醤油につけ軽くあぶる。
- ③おかきをカゴに並べて紙をかぶせ、炭の残り火でゆっくり乾燥させる。おかきは、カゴの真ん中を空けて並べ置く。

善入寺(市場)ではお正月にお供えされた鏡餅をおかきにして訪問客にふるまいます。

作り手は竹中操さん(100歳)。寺娘の操さんは、子どものころから母親のおかき作りを手伝い、見て覚えたとのこと。「焦がさないよう、目離しできない」と絶えず返します。作り方も味付けもシンプルですが、丁寧に焼かれたおかきはとても香ばしく絶妙の歯ごたえです。

餅は陰干しすると、とても長持ちするので非常食にもなりそうです。食物を大切に作る昔ながらの習慣をぜひ皆様のご家庭でも。